

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公表番号】特表2011-516501(P2011-516501A)

【公表日】平成23年5月26日(2011.5.26)

【年通号数】公開・登録公報2011-021

【出願番号】特願2011-503304(P2011-503304)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 9/127 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/54

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 9/127

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月5日(2012.4.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

肺癌を除く腫瘍疾患の治療薬を製造するためのアンギオテンシン変換酵素2(ACE2)活性を有するポリペプチドの使用。

【請求項2】

肺癌を除く腫瘍疾患の治療における使用のための、アンギオテンシン変換酵素2(ACE2)活性を有するポリペプチド。

【請求項3】

腫瘍疾患が生殖器官の腫瘍疾患、特に卵巣癌、睾丸癌、前立腺癌又は乳癌、消化管の腫瘍疾患、特に胃癌、腸癌、直腸癌、膀胱癌、食道癌及び肝臓癌、腎臓癌、黒色腫又は神経芽細胞腫から選ばれるものである、請求項1に記載の使用又は請求項2に記載のポリペプチド。

【請求項4】

腫瘍治療後の続発症(sequelae)又は副作用の治療のため、特に放射線療法、化学療法又は腫瘍手術後の続発症の治療のためにACE2を使用する、請求項1若しくは3に記載の使用又は請求項2若しくは3に記載のポリペプチド。

【請求項5】

腫瘍の転移の防止のためにACE2活性を有するポリペプチドを使用する、請求項1、3及び4のいずれか1項に記載の使用又は請求項2～4のいずれか1項に記載のポリペプチド。

【請求項6】

腫瘍疾患が腫瘍内、腫瘍周辺又は腫瘍患者内の高いアンギオテンシンII濃度を特徴とするものである、請求項1及び3～5のいずれか1項に記載の使用又は請求項2～5のいずれか1項に記載のポリペプチド。

【請求項7】

腫瘍疾患に関連する悪性腔水症、浮腫又は高い脈管透過性の治療のためにACE2活性を有

するポリペプチドを使用する、請求項 1 及び 3 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の使用又は請求項 2 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 8】

ACE2活性を有するポリペプチドが全身投与可能な形態、好ましくは静脈内投与可能な形態又は鼻腔スプレーの形態、特にリポソーム形態で存在する、請求項 1 及び 3 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の使用又は請求項 2 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 9】

ACE2活性を有するポリペプチドが局所投与可能な形態、特に腫瘍内、皮下又は皮内形態で存在する、請求項 1 及び 3 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の使用又は請求項 2 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 10】

可溶形態のACE2を使用する、請求項 1 及び 3 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の使用又は請求項 2 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 11】

二量体形態のACE2を使用する、請求項 1 及び 3 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の使用または請求項 2 ~ 10 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 12】

ACE2活性を有するポリペプチドを、従来の腫瘍治療と組み合わせて、特に放射線療法、化学療法、抗体療法及び / 又は手術的腫瘍除去と組み合わせて使用する、請求項 1 及び 3 ~ 11 のいずれか 1 項に記載の使用又は請求項 2 ~ 11 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。

【請求項 13】

腫瘍疾患が患者にとって予後が不良であることを特徴とするものである、請求項 1 及び 3 ~ 12 のいずれか 1 項に記載の使用又は請求項 2 ~ 12 のいずれか 1 項に記載のポリペプチド。